

令和 6 年10月10日(木) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



部活動の活躍



壮行会



空手道部



アーチェリー部



文芸部



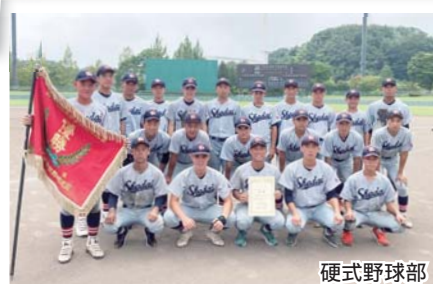
バレーボール部



ペープアーツ部



放送部



硬式野球部



漫画研究部



バドミントン部



テニス部



バトントワリング部

第94号 2024・10

い
挨拶

父母の会会長
永 田 衛

会員の皆様には、平素より父母の会活動に、ご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。令和六年度、父母の会会長を仰せつかりました永田衛と申します。よろしくお願い致します。

初めに、父母の会の活動について簡単に説明致します。年間行事としては、主に総会、学年・学級懇談会の開催や設営、また、秋に隔年開催される商大附高祭への参加です。すべての行事において、本校に通う生徒がよりよい学校生活を過ごせる為に、役員一同、實の子の下舞いになり活動しています。会員の皆様には倍旧のご支援、ご協力をお願い致します。

さて、いつの時代も高校生活は、親の保護のもとから離れる準備期間であり、人間としての在り方や

生き方を踏まえ、自分自身の生き方について考え、主体的な選択と進路の決定を真剣に模索する時期であると言われています。

それでは、傍に寄り添う者は、どのようなスタンスで子どもと接すればよいのか。

まずは、何か問題が起きた時に、頭ごなしで子どもの行動や意見を否定しない。これは、子どもは親より物事の本質を的確に見抜いていることがあります。

次に、何かを決める時、判断に躊躇して発言や行動がすぐに出来なくても、親が無用な干渉をしなかり、急かして物事を早く判断させない。これは時と場合によって例外あり。親も辛抱が必要です。

最後に、学校生活におけるルールや子ども達のルール内で起きた問題については、子ども達自身での解決を促す。最初から親が解決しようと行動しても、結果的によくないことが多々あります。

幾つか書き表しましたが、私達も経験してきたように、社会に足を踏み出せば親の庇護のもとでの生活とは違い、ひとりで生きていかなければなりません。

子どもを「自主・自立」させる

為には、我々もそれなりの心構えと覚悟、そして、たゆまぬ努力が必要ではないでしょうか。

い
挨拶

校長
安 齊 義 宏

父母の会の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しましてご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

父母の会の活動においても、総会にて新役員体制も決まり、役員引き継ぎ懇親会も多数の出席をいただき、有意義で楽しいスタートをきることができました。また、

6、7月には学年学級懇談会に多くの保護者様が参加くださり開催することができました。いただいた感想には、『保護者間での意見交換ができ、とても有意義で充実した懇談会だった』というご意見がありました。こちらについては、

報告書をぜひご覧ください。今年度後半の父母の会活動も引き続き、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

さて、早いもので東京オリンピックが開催され3年がたちました。今年の夏には「パリオリンピック」が開催されました。私もそうですが、テレビにくぎ付けとなり寝不足気味の方も多かったのではないのでしょうか。世界中で話題となり、特に日本人選手たちの素晴らしい活躍が私たちに多くの感動を与えてくれました。日本のお家芸の柔道やレスリングそして体操競技団体戦での大逆転金メダルなど感動的なシーンを目にしました。その中でも、特に今回は10代の若い選手たちの奮闘により、次世代の可能性を強く感じさせてくれました。本校の生徒たちも日々の努力を重ね、多くの結果を上げています。今後それぞれ目標を見据え、自分の持つ力を最大限に発揮し、学問、スポーツ、文化活動などさまざまな分野での活躍を期待したいと思います。

もちろん、子どもたちが夢を追いかけて、目標に向かって努力できる環境を整えるためには、保護者

学年委員長挨拶

の皆様のご協力が欠かせません。私たち教員も皆様と共に、三位一体となってお子様たちを支え、成長を見守っていきたくと考えています。どんなに小さな一歩でも、着実に前進できるよう、共に努力していきましょう。

三学年委員長 間正良昭

今年度、三学年委員長を務めさせていただきます。間正と申します。よろしく願います。

三年生にとっては高校生活最後の一年となり、商大附高で過ごす時間も残りわずかとなりました。これまでの商大附高での経験を活かし、また二度と同じ仲間と過ごすことができない、かけがえのない時間であることを意識して日々の高校生活を大切に過ごしてほしいと思います。

現在、三年生の皆さんは進学や就職といった人生の大きな選択を前にしています。また、十八歳成人を迎え、これまで以上に選択肢が広がる一方で、責任と自覚を持

つことがより一層求められるようになります。困難に感じるかもしれませんが、これは将来について深く考える良い機会でもあります。「人生において後悔のない人生はない」と言われますが、さまざまな研究によれば、行動しなかった後悔は、行動した後悔の約二倍近くにもなることがわかっているそうです。ですから何事も失敗を恐れず挑戦し、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

最後に父母の会として、生徒の皆さんが充実した高校生活を送り、次のステージへ挑戦できるよう、学校と協力しながら支えていきたいと思っています。

二学年委員長 庄司直樹

今年度、二学年委員長を務めさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

自分の夢、将来、タイミング？興味のある事、好きな事、楽しい事、得意な事、趣味などが職業に出来ればなんて嬉しいでしょう。しかし、全員がなれるわけではありません。私事です、30種類以上の職業、パート、アルバイト、

派遣、etc. の職業を経験させていただきました。

「自分の考えた物を作りたい」「こういう物があつたら便利だろう」「もつと喜んでもらえる物を作りたい」という思いが大きくなり25歳のタイミングで起業。色々大変なことも失敗も多く有りましたが「ありがとう」「助かったよ」の声を聞きたくて34年間頑張つて来ています。

生徒の皆さん！タイミングを逃さず、各々が持つ夢に向かって果敢に挑戦して、失敗を恐れずに新しいアイデアを試し常に学び続けることが成功への道を照らします。未来は予測不可能ですが、みなさんが商大附高で身につけた知識、経験、そして友情はどんな困難にも立ち向かう力となるでしょう。

一学年委員長 摩庭 優

今年度、一学年委員長を務めさせていただきます。摩庭と申します。

私自身このような役員は初めてで学校の先生方、父母の会の皆様方にはご迷惑をお掛けしてしまうと思いますが宜しくお願い申し上げます。

げます。

商大附生の皆さんいかがお過ごしでしょうか。青年期の後期である高校生は今後の人生において大切な時期であります。

一年生は中学の頃と違い、色々な事が自由にできて楽しく過ごしていると思います。ですが義務教育ではないので、成績を落とす事もできません。やる時はやる、遊ぶ時は思いっきり仲間と楽しんで頂きたいと思っております。

大人になる為の通り道です。自分だけでなく大切な家族・大切な仲間を思いやり、今後の自分自身の財産を生みだしてください。そして私が今もずっと心がけている「当たり前の事を当たり前にできる」カッコイイ大人になってほしいです。男性も女性も関係ありません。

周りから信頼、尊敬されるような大人になる為、今を一生懸命に取り組んで悔いのない高校生活を全力で楽しんでください。



父母の会総会報告

令和六年度父母の会・部活動後援会の総会が五月十八日(土)午後二時〇〇分より本校講堂にて開催されました。

総会は山岸千冬書記の司会進行、藤田由美子会計による開会宣言で始まり、堀口泰副会長・安齊校長より挨拶と学校の近況報告がありました。続いて議事に入り、事務局より令和五年度事業報告、決算報告並びに松井伸一監事より監査報告があり、慎重審議のもと承認されました。

次に本部役員の改選が行われ、令和六年度新会長に永田衛さんが選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十九名の役員が選出、承認され、新体制がスタートいたしました。新役員を代表して永田新会長挨拶の後、事務局より令和六年度事業計画案、予算案が発表され、原案通り承認されました。また、今年度学年委員長として、三年学年委員長間正良昭さん、二年学年委員長長司直樹さん、一年学年委員長摩庭優さんが紹介され

令和6年度 父母の会本部役員

(部活動後援会本部役員)

会 長

永 田 衛 (F3-8)

副会長

間 正 良 昭 (F3-3)

庄 司 直 樹 (F2-9、F2-10)

摩 庭 優 (S1-2)

書 記

中 林 桂 (F3-4)

清 水 龍 宴 (F2-5)

中 沢 俊 輝 (事務室)

会 計

根 岸 由 美 (F3-11)

鶴 見 愛理砂 (F2-2)

下 田 寛 太 (事務室)

理 事

塚 越 かある (F3-1)

植 原 紀 子 (F3-2)

須 藤 亜 矢 (F3-5)

小 林 光 義 (F3-7)

六本木 佳 子 (F3-8)

植 原 恵 子 (F3-10)

高 林 玲 子 (F3-12)

理 事

大久保 英 恵 (S3-1)

赤 石 花 子 (S3-2)

木 村 佳代子 (F2-1)

中 嶋 美 緒 (F2-3)

小 竹 美登里 (F2-4)

大 熊 真 紀 (F2-6)

吉 岡 智 史 (F2-7)

内 山 敬 (F2-8)

甘 田 啓 子 (F2-9)

篠 原 恵 (F2-11)

萬 代 美 穂 (S2-2)

監 事

山 田 絢 子 (F3-6)

織 茂 恵 子 (F3-9)

稲 葉 ゆきこ (F2-10)

青 木 朋 子 (F2-11)

高 見 純 子 (S2-1)

山 下 由 佳 (F1-1)

小和瀬 健 (F1-4)

久 保 求 (F1-6)

関 口 美津子 (F1-9)

土 屋 恭 子 (S1-1)

本 多 美保子 (S1-1)

ました。

最後に、本会にご尽力頂いた神宮前会長始め、退任された役員の方々に、学校長より感謝状と記念品が贈呈され、退任者挨拶の後、

間正新副会長の閉会挨拶があり、会員の皆様のご協力をもちまして総会は滞りなく終了しました。なお、総会の結果につきまして

おり、令和六年度父母の会・部活動後援会本部役員は別記の通りとなります。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。
(書記 中沢俊輝)

父母の会 令和5年度決算報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	15,624,000	15,734,000	△ 110,000	@1,000×1,322人×12ヶ月
入 会 金	2,155,000	2,155,000	0	@5,000×431人
受 取 利 息	1,000	255	745	定期預金・普通預金
衛 生 費	1,322,000	1,323,000	△ 1,000	@1,000×1,323人
前 年 度 繰 越 金	9,667,010	9,667,010	0	普通預金 9,560,454円／現金 106,556円
合 計	28,769,010	28,879,265	△ 110,255	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
備 品 費	2,500,000	1,426,502	1,073,498	部活動外看板設置・傘立て入替
会 議 費	1,200,000	873,830	326,170	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	350,000	210,940	139,060	香典・供花・饌別
補 導 費	50,000	37,000	13,000	校外の生活指導費・情報交換会等
環 境 整 美 費	2,000,000	1,958,596	41,404	掃除用品・ゴミ処理他
保 健 衛 生 費	1,650,000	1,769,900	△ 119,900	汚物処理・保健室常備薬等
旅 費 交 通 費	200,000	225,231	△ 25,231	役員研修交通費等
部 活 動 賛 助 費	2,500,000	2,500,000		部活動後援会の補助
通 信 費	1,500,000	1,270,080	229,920	生徒・保護者利用連絡システム利用料
消 耗 品 費	30,000	0	30,000	コピー用紙等
進 路 対 策 費	2,000,000	2,019,249	△ 19,249	進路資料、2023年度版大学入試シリーズ
生 徒 会 事 業 協 力 費	2,000,000	1,089,588	910,412	商大附スポーツ祭・予備会協力金
卒 業 生 記 念 品 費	400,000	270,000	130,000	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	700,000	306,770	393,230	教職員研修補助
印 刷 費	1,000,000	757,460	242,540	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,500,000	187,988	1,312,012	車輛維持・燃料代・修理代
諸 会 費	4,000,000	2,996,704	1,003,296	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金 高P連賠償責任補償制度加入 能登半島地震義援金
雑 費	200,000	123,298	76,702	大会パンフレット協賛広告料等
車輛購入積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0	定期預金積立
創立120周年記念事業費	1,000,000	1,000,000	0	定期預金積立
育英基金協力金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金へ寄付
[予 備 費]	300,000	0	300,000	
次 年 度 繰 越 金	689,010	6,856,129	△ 6,167,119	普通預金 5,761,814円／現金 1,094,315円
合 計	28,769,010	28,879,265	△ 110,255	

※特別繰越金

科 目		金 額	科 目		金 額
創 立 120 周 年	前 期 末 累 計 額	6,000,000	車 輛 購 入	前 期 末 積 立 累 計 額	6,000,000
記 念 事 業 積 立 金	当 期 積 立 額	1,000,000	積 立 金	当 期 積 立 額	2,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		7,000,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)		8,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
" 父母の会 会計
" 事 務 局

部活動後援会 令和 5 年度決算報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

収 入 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会 費	23,421,000	23,601,000	△ 180,000	@1,500×1,322人×12ヶ月
入 会 金	2,155,000	2,155,000	0	@5,000×431人
賛 助 会 費	3,000,000	2,500,000	500,000	父母の会 250万円
雑 収 入	1,000,000	3,911,338	△ 2,911,338	大会派遣費補助金収入
寄 附 金 収 入	300,000	328,295	△ 28,295	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	1,000	289	711	定期預金、普通預金
車 輛 購 入 費	8,500,000	8,500,000	0	
前 年 度 繰 越 金	13,447,184	13,447,184	0	普通預金 11,656,084円／現金 1,791,100円
合 計	51,824,184	54,443,106	△ 2,618,922	
支 出 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 会 費	20,000,000	26,698,309	△ 6,698,309	北海道総体／鹿児島全国総文／ 全国選抜(長崎県他) /協会・連盟登録費
報 償 費	7,500,000	8,018,372	△ 518,372	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,000,000	960,700	39,300	合宿補助
備 品 費	2,600,000	2,198,138	401,862	部活動消耗品各種他
強 化 費	3,000,000	1,350,110	1,649,890	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	150,000	0	150,000	広告協賛金他
車 輛 運 営 費	9,500,000	8,241,203	1,258,797	車輛維持費・燃料代・修理代・マイクロバス購入
車輛購入積立金繰入支出	2,500,000	2,500,000	0	定期預金積立
雑 費	50,000	29,250	20,750	
部活動振興積立金繰入支出	1,500,000	1,500,000	0	定期預金積立
[予 備 費]	200,000	0	200,000	
次 年 度 繰 越 金	3,824,184	2,947,024	877,160	普通預金 46,819円／現金 2,900,205円
合 計	51,824,184	54,443,106	△ 2,618,922	

※特別繰越金

科 目		金 額	科 目		金 額
部活動振興積立金	前期末積立累計額	13,000,000	車 輛 購 入 積 立 金	前期末積立累計額	8,500,000
	当 期 積 立 額	1,500,000		当 期 積 立 額	△ 6,000,000
合 計（当期末積立累計額）		14,500,000	合 計（当期末積立累計額）		2,500,000

科 目		金 額
春高バレー出場特別預金	前 期 末 累 計 額	3,382,084
	受 取 利 息	32
	予 選 決 勝 バ ス 代	△ 82,060
合 計（当期末積立累計額）		3,300,056

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

部活動後援会 会長

部活動後援会 会計

事務 局

一年生
父母が語る我が子に望む
高校生活

普通科特選 山下 由佳

「私、やっぱり商大附へ行きたい。志望校を変更させてほしい。」と言われたのは、最終決定を中学校へ提出した後でした。良く話し合い、一緒に決めた志望校でしたので、驚きと焦りと、しかし一方ではやはりなという気持ちでした。一緒に参加したオープンスクールや入試説明会では、どの高校よりも魅力的に映ったように感じたからです。

入学してからは、朝学習に遅刻しない為に苦手な起床に努力する姿や、仲良くなった友人達と楽しく過ごす姿、SSGや文化祭実行委員などに積極的に取り組む姿勢と、志望する大学への進学を見据え、勉強にも励む姿が見受けられるようになりました。

自分が望んで手にした環境では、こんなにも自主性が育くまれるものなのかと驚き、あの時、娘の気持ちを尊重して本当に良かったと

嘸み締めている毎日です。

娘に望む高校生活は、今のまま、前向きに取り組む姿勢を崩さず、よりたくさんの経験をしてほしいと思っています。特に高校生の今しか出来ない挑戦をしてほしいです。その経験は今後、娘にとって貴重な財産となることを望んで、見守りたいと思っています。

普通科特選 川嶋 理良

我が子、そして子どもたちに望むことは、好きなことを見つけてことです。できれば、この先、社会と関わるような好きなものを見つけて欲しいと思います。

そこまで好きなものを見つけることが難しいようであれば、例えば音楽なら、楽器を演奏したり、作曲をしたり、ライブに行ったり、飲み物なら、様々な種類の紅茶を飲み比べたり、カフェ巡りをしたりと、身の回りのことから「好き」の感度を上げて、自分は何が好きなのかに敏感になって欲しいです。好きなことが夢となると、自然と大きな歯車が回り出すでしょう。それに伴う小さな歯車には、挑戦、ウンザリするような仕事量、

失敗など、様々なものがあります。が、夢への挑戦と喜びはまるで振り子のよう。大きな挑戦には大きな苦労が伴いますが、その分、大きな喜びも得られるでしょう。そこに、人生の喜びや幸せをたくさん感じられると思うのです。

そして、必要であれば、ぜひそのために大人を頼って欲しいとも思います。

私は高校生の時、とある陶芸家の方に弟子入りを志願し、訪問しました。

弟子入りはすぐに断られてしまいましたが、連れて行ってくださった恩師や、その後も私のことを気にかけてくださった陶芸家の先生には、本当に感謝しています。

人生には、不思議と必要な時に、そんな大人が現われるものです。とは言え、私もまだまだ挑戦中です。

子どもと一緒に笑い合い、励まし合いながら、人生の旅を楽しみたいと思います。

普通科進学 金井 晴美

息子の商大附への進学の決め手はフェンシング部でした。

小学一年生から始めたフェンシングは、アイデンティティの一つになっていきます。

小中と九年間、ほぼ変わらないメンバーと過ごす校区で育った我が子。

中学ではフェンシングのクラブ活動を優先し、部活動に所属していなかったこともあり、商大附への進学は、初めての部活動に、初めて大人数が集まる環境、初めてづくしの大きな変化で、新しい世界に一步踏み出すように感じられました。

四月に入学してから、毎朝六時過ぎには家を出て、帰宅するのは夜の九時半。片道一時間半の通学と部活動の日々。学校に馴染めるのだろうか。体調を崩してしまわないだろうかと心配していました。が、部活の合宿に参加したり、初めて団体戦に出場し、先生方や先輩、友人たちとの関わりを楽しんでいる様子に安堵し、息子が商大附ではじめの一步を踏み出したことをうれしく思っています。

忙しい毎日の中、ご機嫌にエピソードを話してくれる日もあれば、疲れ果てて寝てしまう日、親子とも業務連絡だけになってしまう日

と色々ありますが、学校生活で様々な刺激を受け、日々成長していく我が子に逞しさを感じています。

息子に望む高校生活は、どんな日々の出来事も自分の成長するチャンスと思い大切にして欲しいと思っています。疲れたのは頑張った証、失敗は挑戦した証、つまづくのは前進しようとした証。自分の成長のチャンスと捉えて向き合い、伸びしろにして欲しいなと思っています。そして、友人や支えてくれる方たちに、思いやりと感謝の気持ちを忘れず過さずして欲しいと思っています。

商大附での三年間、たくさんの経験や出会いを通じて大きく成長してくれと信じて、応援したいと思っています。

総合ビジネス科 本多 美保子

入学から早半年、毎日元気に通っている息子の姿を見送ることに心配ながらもやつと慣れてきました。小さな田舎町で、それこそ生まれた時からずっと一緒に十五年余り過ごしてきた仲間と離れ始めるこの生活は、遠く広い別の世界の様であったことと思います。期待と

不安の中で、心配をかけまいとする彼の姿に先ず驚き成長を感じています。

一年程前の受験時期、最後の最後まで、自分のやりたいこと・目指すものは何なのか、実現する為に先ず進むべき場所はどこなのか、悩み考え自ら決断し掴み取った結果がこの場所でした。自分の決断で最後までやり切った大きな出来事でした。

高校生活では、将来に向けた準備と大きな方向性を定める事を目指します。日々の積み重ね。多くの試験、一つ一つを大切にこなしている様です。高校生活としては十分と思ってしまうですが、一番大切にして欲しいことは「人との繋がり」と考えます。社会へのスタートであるこの環境、ある程度の自由と責任の中で自分の言葉の重みを経験し、そしてその経験を大切にしたいと思っています。今までにはない多くの経験一つ一つを大切にし、自分と周りに感謝できるような三年間にして貰えたら嬉しいのです。ずっと応援しています。

二年生 父母が語る

我が高校時代 夏の思い出

普通科特選 佐藤 雅信

私は高校生活の夏の思い出と言えば、やはり一番に部活動を思い出します。

私は幼いころから野球をしていて、もちろん高校時代にも野球部に所属し、夏休みの大抵は部活動に励んでいました。どんなに暑い夏の日でも部活動に打ち込む日々を当時はきつと感じていましたが、今思えば仲間との絆を深める絶好の機会でした。特に思い出に残る一場面は学校のグラウンドで仲間と練習に励む姿です。今でも甲子園の時期になると仲間たちと笑い合い、励まし合い、汗を流した時間が鮮明に蘇ります。そんな仲間との絆は高校を卒業した今でも根強く続いています。

部活での思い出や経験は私にとって人生の糧であり、信頼関係や友情の大切さを教えてくれた貴重な経験です。これから先、人生は挫折や困難がたくさんあると思います

すが、仲間との絆や友情を大切にしたい信頼関係を築くことが原動力になると思います。部活をやっている人のみでなく、高校生活で生きた人とのつながりは大切にし、これからの様々な場面で挑戦して頂きたいと思っています。

普通科特選 鶴見 愛理砂

高校時代の夏の思い出と言えば、何と言っても富士登山です。

私が通っていた女子高では、高校一年の夏休みに林間学校があり、メインイベントが富士登山でした。体調不良で待機組になりたい、という密かな願いはかなわず早朝に五合目から登山を開始、高山病で途中下山する友人もいた中、無事登ることができました。

今でも印象に残っているのは、樹木のない殺伐とした登山道と見渡す限りの真つ白な雲海、そして、山頂に着いた時の何とも言い表せない達成感です。あんなに嫌々登り始めたはずなのに、途中から富士山の頂上に絶対たどり着きたい！と自分の気持ちが変わって行くのを感じました。携帯電話もない時代、山頂の公衆電話から母に電話をか

けたことも懐かしく思い出されます。それ以来三十数年、登山とは無縁の生活ですが、同級生と励まし合ってやりきった、とても貴重な体験となりました。

皆さんの高校生活での様々な経験も、いつか懐かしく感じる日が来ると思います。是非、仲間との今を大切に過ごしてください。

普通科特進国際 清水龍宴

秋の文化祭に向けて僕のポスター案が採用されたので、印刷会社とのやり取りがありました。そんな課題を抱えた夏の思い出です。テーマは「大人のふるまい」にしたいと思います。

いつもお世話になっているSさんが海水浴を計画してくれました。Sさんは四大家族。勤務先の優待が使える鯨波の旅館に一泊二日、自家用車で往復です。さらに二家族も含めて総勢十八人、車三台のツアーでした。当時県境は国道しかなく、冷房の効かないワゴン車で渋滞にはまったときは苦しかったです。海は透明で、すぐそこにいる魚を追いかける海水浴やスイカ割り、大きな船盛の刺身は今でも楽しい

思い出です。Sさんが子どもたちのことを考えてくれた気持ちがありがたいです。

そんな海水浴場から、僕は一足早く自宅に戻りました。電車を乗り継いで四時間以上かかったでしょう。印刷会社との打ち合わせのためです。

ポスターは黒基調で、細く白い線が入っている図案でした。これを印刷で黒くするのはなく、黒い紙に銀色のインクを乗せると白く見えるから、この方法で良いか？という相談でした。印刷費が抑えられるそうです。承知してしまつた僕が悪いのですが、出来上がったポスターは、艶のない黒い紙のベースの貧相なものでした。あまりにもひどくて、僕の前では友だちがその話題に触れませんでした。若い人に、交渉に強くなつて欲しいと要望することもできます。が、この夏の思い出は、僕に「大人のふるまい」を意識するようにという教訓を与えてくれたと考えています。

普通科進学 吉岡理恵子

「あの夏の一曲」テレビから聞

こえてくるその音楽で、高校時代が蘇ってきます。あの頃は、アルバイト仲間との関わりの中で、自由を手に入れた先輩達に憧れを抱いていました。同年代の仲間も、皆同じように感じていたと思います。高校生の多感な時期に、その一番素敵な時間を有意義には感じられなかったのです。

中学時代、夏といえば真っ黒に日焼けして部活に励んでいました。続ける道は選ばず進学を決めたものの、高校では周りの友人達が部活に励み青春を謳歌していたことに、羨ましく感じていたと思います。のちに素直にそう思えたのは、充実して生きている自信がついてからでした。大人になった今、あの頃に戻ることはできません。だから、伝えます。

大人への階段はいつもすぐそばにあるから。子供でいられるこの時に、「今しか出来ないこと」に向き合ってもらいたい。人それぞれその形は違っても、充実した時間を多くの子供達が過ごせるように願っています。それと同時に、高校時代が人生の全てではないことも、心のどこかに留めておいてほしいです。そうすればきっと、

心軽く今を楽しめるはずだから。

総合ビジネス科 萬代美穂

三年間打ち込んだ部活で流した汗の匂い。毎日仲間と集まった湿気に満ちた狭い部室。部活帰りに食べたかき氷の爽やかな苦味のあるグレープフルーツシロップの味。成績が伸びず悩む気持ちを追い立てるように鉛筆の音が響く教室の風景。

こんなぼんやりとした記憶しか残っておらず、原稿を書きあぐねていた時、海外移住した友が帰国するとの事で、部活仲間と集まることになりました。卒業後は皆それぞれ別の人生を歩んできましたが、再会すれば気持ちは高校生に戻ります。先生のあだ名の由来や口癖、実らなかった恋の話、同級生たちの卒業後の話など、会えなかった空白の時間を埋めるように何時間も喋り続けました。

苦しかったり辛かったり悲しかったりした事も沢山あったはずなのに、今となってはその事も含めて、キラキラして楽しかった！と思える全て愛おしい思い出です。そして私にとって今夏は、高校

時代の記憶が蘇り、友人たちとの絆を深められ、二度目の青春時代を味わえた忘れられないひと時となりました。

三年生
父母が語る

進路達成に向けて 我が子に送る エール

普通科特選 塚越 かおる

つい先日入学式を終えたと思っていたが、気付けばあつという間に高校三年生。受験生となり勝負の夏がやってきました。とは言え、この間まで部活に一生懸命になっていた日々で急に受験勉強にシフトするのは簡単ではありません。最後の試合も怪我の為にベンチからの応援で終わってしまいました。不完全燃焼でしたが、「はじめですから。」と引退を決めた姿はとても遅かったです。

高二のコース選択では幼い頃からの夢を叶える為に苦手な理系クラスを選択しました。思うような結果が出せずに苦しうな時もありました。受験生となった今、きつ

とあなたにしかわからない葛藤と戦っていると思います。諦めるという選択をさせなければならなかった時は、私もとても辛かったです。でもこの先、あなたの未来は無限大。失敗しても遠回りしても沢山の事にチャレンジ出来る人になつて欲しいと思っています。どんな事でも楽しめるあなたなら、きつと大丈夫。夢を叶える為に頑張るあなたを応援しています。

普通科特進 中 林 桂

三年生になり、部活動も終わりあつという間に本格的に進路を決める時期がきました。

三年前の今頃は、どの高校に行こうか迷っていました。今度は人生の中でも大切な選択をする事になります。思えば、二年生の時の理系か文系を決める時から進路選択は始まっていたと思いますが、その時は何となく得意な方を選んでいましたね。

時々、進路の話になると「どんな職業に興味があるの?」と聞いても、考える余裕がないのか、まだ先の話だからゆっくり考えればいかなんて思っている様子でし

たね。親の立場から、あれがいいとかこれがいいとか決めて言いたくなかったのですが、こんな選択肢もあるよと案を出して一緒に考えたりした事もあれば、友達に相談して考えが変わったりして迷っていた時期もありましたね。

最終的には進学する事に決めましたが、弟も同時期に高校進学なので、経済的な事も考えて決めてくれたのはとてもありがたかったです。

残りの高校生活を一日一日大切にし、無事合格できるよう応援しているのがんばってください。

普通科特進国際 岡田 久美

二期期が始まり、大学受験が目前に迫ってきました。この数年間進路について娘と何度も話し合ってきましたが、正直積極的な動きはなく、その事で親として不安や焦り、葛藤を抱えてきました。時には衝突する事もあり、お互い言いたい事を我慢する様な時もありました。今では彼女が自分のペースで考え、選択する事も大切な学びの一部だと気がきました。自ら道を見つけて出すのに大事な時間だっ

たのだと理解できました。

多くの事に悩み、迷う時期だと思えます。しかし、まだまだ十八歳、人生始まったばかりです。まずは勇気を持って一歩を踏み出してみてください。途中で方向が変わっても良いのです。自分で見つけ出し、自分で責任を持つ事が大切なのです。

これから卒業まで娘にとつても、家族にとつても大切な日々です。どんな結果であつても娘の成長に繋がると信じています。未来への糧となるでしょう。

貴方が見つけた夢が叶う様に応援しています。

普通科進学 根岸 由美

高校二年生の頃から、娘は自分の行きたい専門学校を調べては、オープンスクールへ見学に行ったり、学校のイベント、体験などにも参加したりと行動していました。将来の事を考え行動する娘に感心し、又その反面違う道もどうかろうかと提案したり、話し合ったりもしました。

色々見て考えた結果、専門学校へ行きたいという娘の気持ちは変

わらず、三年生になる頃には具体的な話になってきました。そんな中、先生には親身になって相談に乗っていただき感謝しています。

私自身、絶対になりたい、行きたいという目的がなく、その事に悩んだりした時期もありましたが、目の前にある事をこつこつとやっていた、なるべくベストとなる様にそして楽しくという気持ちで、そうしていた先に今があったという事が多かった気がします。

目標があり、それに向って努力をしていく事はとても立派で羨ましいです。もし目的がぼんやりしてしまっても目の前のやるべき事でコツコツやって行く事で道が開かれて行く事もあると思います。

頑張ってもうまくいかない事もあると思います。でもその一生懸命は、たくさんの人との出会い、助けを得られたり、自分の心を豊かにできる事と思います。

いろいろな経験をし、好きな事をたくさん見つけて下さい。いつでも応援しているよ！

総合ビジネス科 大久保 英恵

早いもので高校生活も残すところ

る半年となりました。長かった新型コロナウイルス感染症の影響からも徐々に解放されて、様々な学校行事、修学旅行や体育祭など高校生としての生活を満喫している娘が見られて微笑ましかったです。

進路を決める時期になり、「やりたい事決まったの?」「将来の夢は?」まだまだ現実的ではない娘の様子を見て、資料請求して色々調べたり、一緒にオープンキャンパスに参加したりしました。

今では将来やってみたい事が見つかって進路することを決めました。でもまだまだ若いし、周りの色々な意見に流されたり迷ったり、色々な壁にぶち当たることがあるかもしれません。たとえ失敗したことでもそれまでに努力してきたことは決して無駄にはならないので、自分のチャレンジしたいこと、経験したいことは、これから先もどんどんやっていってほしいです。これから先もいつも一番最初に相談できる場所で居たいと思っています。私達家族は娘の夢が叶うように、全力でサポートし見守っていきたいと思います。



特別進学選抜・特別進学コース

一年主任 内田 由香

今年度も、保護者の皆様のご出席を賜り、入学式を無事に終え、新入生を迎えられたことは喜ばしい限りです。

特選・特進コースでは、それぞれの進路目標の達成を目指し、朝学習や校外模試、長期休暇での登校講座など様々な指導を行っており、生徒も友人と協力しながら、素直に真面目に取り組んでいます。しかしその反面、これまでの受け身の学習姿勢のままで、より成長していくための能動的な姿勢が十分に作れていない生徒もいて、齒がゆく感じることもあります。先日、ベネッセコーポレーションの方をお迎えして、「進路実現に向

けて今なすべきこととは」というテーマで講演会を実施致しました。土台となる基礎・基本を定着させることが目標達成のための重要な鍵になること、学習習慣を確立することや早期に苦手を克服することの重要性、模試の活用法などをお話ししていただきました。与えられた時間は平等でも、使い方は各自に任されています。受験は先のこととのんびりと構えているのではなく、必要な力を自ら考え、積極的に行動していったほうがいいと思います。我々教員も、生徒をしつかりと支え導いていきたいと考えております。

特別進学選抜・特別進学・特別進学国際コース

二年主任 神戸 沙織

特選・特進・特国コースの生徒たちは二年生となり文系、理系、国際の三つのコースに分かれ、それぞれの希望進路に応じた深い学習を進めています。また、部活動では中心的存在として活躍し、本校オープンスクールでの説明係(スクールガイドボランティア)や児童館、施設でのボランティア

活動に積極的に取り組むなど、充実した学校生活を送っています。

二年次からは探究学習が本格的に始まりました。生徒が考えたテーマには、「濡れたノートを戻す方法」、「蓄光塗料を活用した夜道も安全な道の提案」、「授業中に先生から指名されやすい席、番号、人といったユニークな、自由な発想が光るテーマが揃っています。自分の考えたテーマに基づき、情報を集め、分析し、意見をまとめるという一連のプロセスを経て、自分の興味を深めると同時に、批判的思考力や創造力を育んでいます。現代社会は急速に変化しており、固定された知識だけでは対応できない新しい課題が次々と生じています。校内外での様々な体験を通して、知力、思考力、創造力そして人間力を高め、未来に向けた力をつけていくことを期待しています。どうぞ今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

特別進学選抜・特別進学・ 特別進学国際コース

三年主任 茂野 宏道

ついに三年の一学期が終わって

しまいました。コースの特性上、二学期の頭には進路先が確定する生徒もいれば、国立大学二次後期試験など、卒業後も受験が続く生徒もいます。そういった様々な生徒が混在する中で、これから先に受験を控えている生徒が抱える不安やストレスは当人でなければわからない部分も多いはずです。

さらに、大学受験においてはこの学年から新しくスタートしたカリキュラムでの入試になります。科目によつては過去問が参考にならないほど学習内容が変更になったものもあります。同世代は同じ条件とはいえ対策が一筋縄ではないかないのも事実です。我々教員も大学入学共通テストや、総合型選抜、推薦入試など、受験への対応しつつ、生徒が抱える不安や悩みなど、精神的な面でもしっかりとサポートしなくてはなりません。生徒の皆さんが元気に本校を巣立っていきけるように支えていきたいと思っています。

一学年進学コース主任

角田 諭志

一年進学コースは四月に二四〇

名の一年生を迎え、スタートしました。校内研修から始まり、初めての定期考査、文理選択を通して自分の将来のことを考えるなど、本当にあつという間の一学期であつたと思います。

コース全体の取り組みとして、非認知能力の成長を促していきたいと考えています。生徒たちは明朗活発で、高校生活を満喫しているように思われますが、どこか受け身であると感じる所があります。本校の教育目標である「自主・自立」の体現にはまず「自律」が必要となります。自分を知り、自己を調整することにより自律が可能になると思います。高校生活を通して生徒の「自律から自立」が体現できるように、一年進学コース職員全体で、全力でサポートしていきたいと思っています。

二学期になると、観劇、芸術鑑賞、商大附高祭と学校行事も多く予定されており、一学期よりも早く時間が過ぎていくことでしょう。明確な目標を持ち、毎日を楽しく生活できるよう、学校と家庭で協力していけたらと思います。ご協力よろしくお願い致します。

二学年進学コース主任 上和田 直

高校時代は人格の形成に最も重要な時期です。その中でも、二年生での学校生活は特に重要になります。学業では、進路達成に向けた準備が充実していること。二年生の時に、今年が勝負だと思つて勉強することです。部活動では、中心となつて部をまとめ、統率していく学年です。後輩たちに良い手本となり、実績を上げていく責任があります。

高校生活にも慣れ、自分自身にも余裕が持ててきたと思いますが、その中で、将来の自分に向けてこの大事な時期をどう過ごすかで、人生に影響を与えるのではないかと思います。しかし、思春期でもあるため、いろいろな事に不安になったり、自分自身に自信が持てなかったり、時には、友人関係がうまく構築できずに悩んでしまう事もあると思います。このような事を経験した生徒たちは本当に辛いと思います。これは成長過程だと思っています。そんな時こそ、経験のある大人たちが、生徒たち一人一人に向き合う事が大事だと思

います。

人間的に大きく成長するこの時期は、悩みや、不安を乗り越える時でもあります。学校と、ご家庭で協力し、生徒たち一人一人が成長する第一歩の背中を押してあげたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

三学年進学コース主任

井出望和

最高気温35℃以上の猛暑日、ゲリラ豪雨や台風、さらには南海トラフ地震臨時情報警戒宣言の発令と今年の夏は、災害関連のニュースがトップで報道される日が多く感じられました。

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて高校三年生にとって重要な2学期が始まりました。受験や就職活動など、進路を見据えた重要な時期であり、学業と生活の両面で大きな節目を迎えます。まずは受験生・就活生としての心構えを持ち、日々の学習に一層の努力を重ねていくことが求められます。

また、商大附高祭などの学校行事も控えており、三年生にとっては一つ一つの行事が本校で経験する最後の行事にもなり、充実した学校生活を送る機会でもあります。

しかし、この時期には、ストレスや疲れが溜まりやすく体調を崩しがちです。保護者の皆様には、日々の健康管理や生活リズムの整備について、改めてご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、私たち教職員一同、生徒の皆さんが目標達成に向けて全力で取り組めるようサポートしてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

会計・総合ビジネスコース主任

砂山雄一郎

過去最多のメダルラッシュに沸いた夏のオリンピック。パリとの時差は八時間。日本人選手の活躍をリアルタイムで視聴して、寝不足の日々を過ごした方も多いと思います。感動的な勝利の歓喜、まさかの無念の敗退、心を揺さぶられるシーンが沢山ありました。その中でも特に私が注目したのは、

監督・コーチをはじめ、選手を支える周りのスタッフたちの所作です。得点の度に両手を上げてガッツポーズ、勝利の瞬間は選手と抱き合って喜びを分かち合い、不可解なジャッジに対しては審判団へ必死に抗議する。敗れたときには自身の悔しさや無念さを堪え、号泣する選手を優しく励ます。そんな姿に感動します。選手本人の才能や努力は勿論ですが、メダリストたちが口を揃えて言うように、家族や周りの支えがあつてこそ金メダルです。

我々も生徒・保護者・学校の三者が同じ目標を持ち、その足並みが揃ってこそ、充実した高校生活と希望進路が実現できるのだと思います。今後もご家庭と協力しながら職員一丸となり、生徒たちの持つ可能性を最大限に引き出して、それぞれの金メダルを目指していきたいです。



職員寄稿

大学時代の経験

三上 桃花



大学生の時、ヨガのサークルを立ち上げました。「一緒にヨガのサークル作らない？」と友人から提案されたことがきっかけでした。サークルを立ち上げようなど中学・高校時代の自分からは考えられませんでした。何が私をそのような



第17回 商大附高祭

10月19日(土)・20日(日)開催!



ポスター 中島 姫愛奈
作成者 (総合ビジネス科2年)

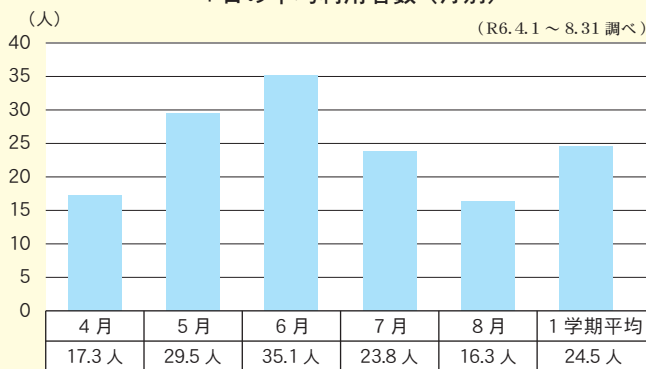
行動に移したのか振り返ってみたいと思います。

中学・高校の自分は特にやりたこともなく、ぼんやりと毎日を過ごしていました。大学に行く理由も明確なものはありませんでした。これも決められた道を選択してきたからかもしれません。自分の意思で決断をしてきませんでした。そんな毎日に悔しさがありました。そうして入った大学で、自分が何をしたいのかも漠然としていました。

ていてとても憧れるものでした。自分もこんな風になりたいという思いは徐々に強くなって、自分が夢中になれるものは何なのか知りたくなりました。そこから私の変化は始まり、興味を持ったものとはとんやってみようという精神になりました。その大学に挑戦できる環境があったのも事実ですが、一緒に挑戦できる仲間が沢山いたのも事実です。人との関りが、私自身を大きく変化させ、そして成長させました。在学期間の四年間を通して、大学内外で数えきれないほどの活動をしました。時には心が折れ抱えきれなくなる時もありましたが、それでも仲間が支えてくれました。そんな充実した日々を送れました。

1日の平均利用者数(月別)

(R6.4.1～8.31調べ)



本校には、図書室とは別に学習室があり、平日は午後8時まで、土・日や長期休業中は午前9時から午後5時まで、出入り自由で各自の都合に合わせて利用できます。

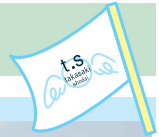
机もブース型で周囲を気にせず勉強に集中できる環境が整っています。また、平日は教員が在室し、質問や進路相談にも応じています。テスト前になると50席が満杯になる状況ですが、それ以外は余裕がありますので、より多くの生徒に活用してほしいと思います。

学習室の利用状況について

そんな中、ある活動のコミュニティで出会った友人からサークルを立ち上げようと提案されました。沢山の壁にぶつかりましたが、引き継いでくれる後輩もいて今も存在しています。「リラックスできる場所」を目的として立ち上げた

サークルが日々の疲れを癒す居場所になっていると嬉しいです。環境は自分で作るものだと思っています。その機会はどこにでも転がっています。是非思い切ってやりたいことをやってみてください!

2024 関東大会・国体・全国大会 出場結果報告



アーチェリー部

R6. 6. 8～6. 9 関東大会

男子団体 9位 大河原(F3-8)・猿谷(F3-11)・長井(F3-7)
 女子団体 4位 田中(F3-6)・平塚(F3-5)・羽鳥(F3-10)
 男子個人 17位 大河原、35位 猿谷、43位 長井、49位 廣木(F3-6)
 女子個人 17位 田中・平塚・羽鳥、36位 大崎(F3-3)

R6. 8. 5～8. 7 インターハイ

男子個人 95位 長井 女子団体 20位 田中・羽鳥・吉田(F3-3)

R6. 8. 18 国体関東ブロック予選

少年男子 6位 廣木 少年女子 5位 田中・吉田



バドミントン部

R6. 6. 8～6. 9 令和6年度関東高等学校バドミントン大会

男子学校対抗 2回戦
 大出悠人(F3-2)・佐藤零(F3-6)・相川武蔵(F2-11)・新井佑翼(F1-5)
 齊藤聖矢(F1-7)・村山蓮(F1-9)・後藤達人(F1-11)
 女子学校対抗 2回戦

高瀬安加梨(F3-7)・尾花有紀(F3-6)・相川和葉(F2-10)・磯野友香(F1-1)
 新井爽月(F1-9)・岩間夕奈(F1-11)・山本佑月(S1-1)

R6. 8. 1～8. 4 令和6年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技

女子シングルス 相川和葉(F2-10) 1回戦

R6. 8. 17～8. 18 令和6年度国民スポーツ大会関東ブロック予選

少年女子 相川和葉(F2-10) 予選リーグ3位

R6. 8. 27～8. 30 令和6年度全国私立高等学校選抜バドミントン大会

女子学校対抗 48校中29位
 相川和葉(F2-10)・矢嶋杏莉(F2-7)・磯野友香(F1-1)・中里心春(F1-5)
 新井爽月(F1-9)・岩間夕奈(F1-11)・山本佑月(S1-1)



フェンシング部

R6. 6. 7～6. 9 令和6年度関東高等学校フェンシング大会

女子個人 加藤里菜(F1-8) トーナメント 1回戦
 男子学校対抗 2回戦敗退
 木村瑚琥(F3-9)・佐藤天(F3-1)・小坂橋瑛太(F3-9)・木樽隆詩(F1-11)・金井惺(F1-7)
 女子学校対抗 ベスト 8
 砂山青葉(F2-11)・永沢暁佳(F2-6)・加藤里菜(F1-8)・齋藤加蓮(F1-7)・並木胡桃(F1-3)

R6. 7. 23～7. 27 令和6年度全国高等学校総合体育大会

男子個人サーブル 第8位 木村瑚琥(F3-9)
 女子個人エペ トーナメント 1回戦 砂山青葉(F2-11)

R6. 8. 16～8. 18 令和6年度国民スポーツ大会関東ブロック予選

少年女子 第2位 群馬県(加藤里菜)

R6. 8. 17～8. 18 第14回全国サーブルチャレンジカップ

男子個人サーブル 第7位 木村瑚琥

R6. 8. 24～8. 25 令和6年度北関東フェンシング選手権全日本選手権北関東予選

女子個人エペ 3位 齋藤加蓮
 男子個人サーブル 3位 木村瑚琥



ペッパアーツ部

R6. 7. 21 関東カラーガードコンテスト2024 高等学校の部 金賞

増田楓華(F3-11)・金田璃子(F3-9)・清水菜(F3-1)・松原のん(F3-2)・阿久津彩羽(F3-5)・石丸優奈・松井晴恵・吉澤優妃(F3-8)・藤井沙羅(F3-10)・河原唯愛(F3-11)・境原梨蘭(F3-12)・市地結衣(F2-2)・今井夕月(F2-3)・高田雛乃(F2-8)・阿藤千歩(F2-9)・櫻田若菜(F2-10)・深野心遥(F2-11)・鬼形菜由・木島知香・中宮麻友(S2-1)・倉林萌華・津久井優和・若松あやめ(S2-2)

R6. 8. 11 JAPAN CUP 2024 カラーガード部門 第4位

増田楓華(F3-11)・金田璃子(F3-9)・清水菜(F3-1)・阿久津彩羽(F3-5)・石丸優奈(F3-8)・松井晴恵・吉澤優妃(F3-8)・藤井沙羅(F3-10)・河原唯愛(F3-11)・境原梨蘭(F3-12)・市地結衣(F2-2)・今井夕月(F2-3)・高田雛乃(F2-8)・阿藤千歩(F2-9)・櫻田若菜(F2-10)・深野心遥(F2-11)・鬼形菜由・木島知香・中宮麻友(S2-1)・倉林萌華・津久井優和・若松あやめ(S2-2)

空手道部

R6. 6. 8～6. 9 第53回関東高等学校空手道大会

女子団体組手 出場 島田千桜(F1-5)・芹沢音歌(F1-6)・田中恋音(F1-9)・小野楓(F2-10)・石田海華・関七彩(F3-10)・江口若奈(F3-12)
 女子団体形 第5位 薄井 那菜(F1-3)・星野ひより(F2-5)・寺内瑠菜(F2-6)・風間恋海(F2-9)・小野楓(F2-10)・辻本南月(F3-1)
 女子個人組手 出場 江口若奈(F3-12)・芹沢音歌(F1-6)
 男子団体組手 出場 松井翔汰(F2-5)・金井侑晟・温井日陽(F2-8)・庄司大和(F2-9)・徳井渉介(S2-2)・石井徹磨・加藤謙吾(F3-8)
 男子団体形 出場 天野聖成(F1-10)・松井翔汰(F2-5)・庄司太一(F2-10)・徳井渉介(S2-2)・加藤謙吾(F3-8)・塚田一輝(F3-9)
 男子個人組手 出場 金井侑晟(F2-8) 男子個人形 出場 松井翔汰(F2-5)

R6. 6. 23 第55回関東空手道選手権大会

女子団体形 出場 寺内瑠菜(F2-6) 女子個人組手 出場 関七彩(F3-10)

R6. 8. 1～8. 4 第51回全国高等学校空手道選手権大会

女子個人組手 出場 江口若奈(F3-12)



テニス部

R6. 6. 10～6. 12

令和6年度善行高等学校総合体育大会テニス競技大会

男子 個人の部 シングルス
 中林莉桜 初戦敗退(ベスト128)



放送部

R6. 7. 22～7. 24 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場

テレビドキュメント部門 ラジオドキュメント部門、創作テレビドラマ部門 準々決勝

砂長勇菜・竹中柚月(F3-1)・植原帆乃花・山科玲(F3-2)・力武紗彩・小林陽奈(F3-4)・
 永山結菜・奥村紗弓・塚越菜々(F3-5)・塚本璃子・雷田涼音(F3-7)・須藤愛那(F3-10)・堀越利奈(S3-2)・塩原菜々美(S3-1)・
 大塚千音・小林夏実(F2-1)・林愛純・伊藤彰利(F2-8)・松本歩夏・小井土未来(F2-9)・小池凜音(S2-1)

R6. 8. 1～8. 4 第48回全国高等学校総合文化祭放送部門ぎふ総文2024

ビデオメッセージ部門 出場 Dブロック第5位

砂長勇菜・竹中柚月(F3-1)・植原帆乃花・山科玲(F3-2)・力武紗彩・小林陽奈(F3-4)・永山結菜・奥村紗弓・塚越菜々(F3-5)・
 塚本璃子・雷田涼音(F3-7)・須藤愛那(F3-10)・堀越利奈(S3-2)・塩原菜々美(S3-1)



水泳部

R6. 7. 20～7. 22 第75回関東高等学校水泳競技大会

男子50m自由形 清水謙人(F2-5) 記録 25.31
 男子100m自由形 清水謙人(F2-5) 記録 56.69



文芸部

R6. 8. 16～8. 18 第19回全国高校生短歌大会 短歌甲子園 2024 出場

植原愛佳(F3-10)・高崎明音(F3-9)・福島環(F2-1) 話題作品賞受賞 福島環(F2-1)

R6. 8. 21 第25回関東地区高校生文芸大会(栃木大会) 出場

今井沙羅・植原愛佳(F3-10)・高橋健太郎(F3-11) 佳作 今井沙羅(F3-10)



バトントワリング部

R6. 7. 31～8. 2 第48回全国高等学校総合文化祭清流の国ぎふ総文2024

マーチングバンド・バトントワリング部門 出場

徳江里光央(F3-6)・長坂心暖・三友菜緒・丸山愛未(F3-8)・岩井幸恵(F3-11)・
 大橋紗蘭(S3-2)・兼久イオ(F2-8)・石井星風(F2-10)



バレーボール部

R6. 6. 1～6. 2 令和6年度第78回関東高等学校女子バレーボール大会 出場

R6. 7. 21～7. 22 第32回関東私立高等学校男女バレーボール選手権 出場

市川夏生・佐藤萌愛(F3-7)・永田敏野・茂木乃夢(F3-8)・内山和音・中川陽音(F3-9)・
 板倉鈴・若狭悠帆(F3-10)・中島綾夏音(F3-11)・山田葉月(F3-11)・國分利菜(F3-12)・
 柳澤愛月(F3-12)・本間由梨・吉岡咲茅(F2-7)・鈴木咲絵(F2-8)・清水叶愛(F2-9)・
 中井乃愛・柳澤歌恋(F2-10)・引田玲蘭(F2-11)・関口もも(S2-2)・赤岩柚香(F1-5)・
 粕谷咲花(F1-5)・荻野奈菜・土屋美桜(F1-6)・加藤紗良・杉村まゆり(F1-7)・
 小須田美星(F1-8)・植野心花(F1-10)・高橋愛菜・武井一桜(F1-11)・長岡和花(S1-1)・井出陽葉莉(S1-2)



漫画研究部

R6. 8. 3～8. 4 第33回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園) 出場

橋本明日香(F2-1)・村井田瑠菜(F2-4)・塚田沙希(F2-11)



令和6年度 入学式

4月9日(火)、新たに414人の新入生を迎え、群馬音楽センターにて入学式が行われました。朝方は雨模様でしたが、式が終わった時には雨も上がり、式の看板を背に記念写真を撮っていました。

1年 校内研修



2日間の校内研修。2日目は、商大クイズ・ドッジボール・縄跳びとレクリエーションの1日でした。

3年・ディズニーランド



2・3年 日帰り旅行

進学・プレジャーフォレスト



S科・軽井沢アイスパーク

S科2年生の日帰り旅行は、軽井沢に行きました。寒さを感じないほど白熱したカーリングを体験することができました。



特進・上野公園

6月 マナーアップ運動



5月 3年 主権者教育



7月 つくば研修



特別選抜進学コース1・2年生59名は、7月29日・30日につくば研修に参加しました。筑波宇宙センター(JAXA)などの研究機関や筑波大学の見学・体験を通じて視野を広げました。今後の進路選択の幅を広げるとともに、学習意欲の向上につながることを期待します。



7月 海外研修

シアトル郊外で行われた3週間の海外研修に20人の生徒が参加しました。



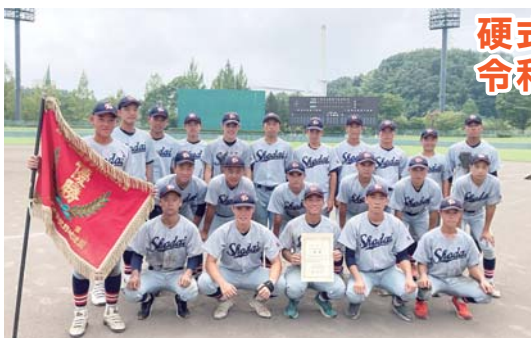


8月 JRC

7月29日から31日の2泊3日、赤城少年自然の家で行われた青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターに参加しました。他校のJRCメンバーとともに献血に関する講義を受けたり、救急法の実技研修を行ったりしました。



理科部の生徒による理科教室。
空気砲や水と紙を使った実験が園児に大好評でした。



硬式野球部 令和6年度秋季西毛リーグ 優勝！

夏休み中におこなわれた、令和6年度秋季西毛リーグにおいて、硬式野球部が優勝を果たした。予選リーグで、農大二、高崎東、安中総合を下し代表となり、決勝トーナメント準決勝では高崎経大附に3-2、決勝では明和県央に2-1と競り勝ち本校野球部初の優勝を成し遂げた。

漫画研究部 まんが甲子園に参加

高知県の高知市文化プラザかるぽーとで8月3日・4日に行われたまんが甲子園に部員3名が参加してきました。今回は初参加ということで、全国のレベルの高い高校の雰囲気を学ぶことができました。大会結果は残念ながら、上位10校の優秀賞に残ることは出来ませんでしたが、今回体験させていただいたことを糧にし、これからも頑張っていきたいと思います。



合唱部

7月25日 高崎市役所ロビーコンサートに出演

合唱部は夏休み中に、高崎市役所ロビーコンサートと高崎芸術劇場リレーコンサートに出演しました。11月3日には鉄道文化村のコンサートに出演します。ぜひ聞きに来てください。



英語部ボランティア

高崎市総合福祉センター児童センターにおいて、「英語で遊ぼう」講座を企画しました。講座は8月20日(火)の午前と午後の2回開催し、園児や小学生と楽しく活動しました。

9月 ビブリオバトル

9月3日(火)7校時に図書室でビブリオバトルを行いました。当日は30人近くの生徒及び先生方の出席があり、チャンプ本が三島由紀夫「金閣寺」に決定しました。準備期間が短い中での開催でしたが、発表してくれた生徒の皆さんはとても上手に発表してくれました。11月には県立図書館にて群馬県大会が開催されます。



編集後記

この夏、一部のスーパーや小売店から「米」が消える「令和の米騒動」が起きました。

私の家は代々農家で、両親が稲を栽培し米を収穫していましたので、幸いにも「米」の心配をしたことはありませんでした。しかし両親の高齢化に伴い田んぼ仕事も難しく、ここ数年は知り合いに栽培を委託し収穫してもらっています。近所でも、後継ぎがなくコメ栽培をやめた休耕田をしばしば見かけるようになりました。現在、日本の農業を支えている多くは小・中規模農家の高齢者で、毎年多くの農家が廃業しています。

食料の60%を輸入に頼る日本の食卓は、国の経済力や世界情勢の影響をもろに受ける極めて不安定なものです。その中において、唯一自給率100%を維持しているのはコメだけです。その主食のコメが不足すれば、私たちの食卓がたちまち危機的な状況に陥ることは間違いありません。

実りの秋、黄金(こがね)色に輝く稲穂が風に揺れる様子はそれは美しく、豊かさの象徴ともいえるでしょう。この先、この風景をどう維持していくのが日本にとって切実な課題であることを、改めて考えさせられた夏でした。

(教頭 大澤)

